

米中間選挙まであと半年を切った（649号）

2026年 6月 石館

米中間選挙は2026年11月3日火曜日に予定されている。様々な世論調査によると、上院は与党・共和党が多数派を維持し、下院は民主党が過半数獲得のねじれ議会化する予想が有力。選挙予測は当然ながら近くなればなるほど確度は高くなるが、今回の場合はイラン問題があり、その行方によっては中間選挙に大きな影響を与えるであろう。



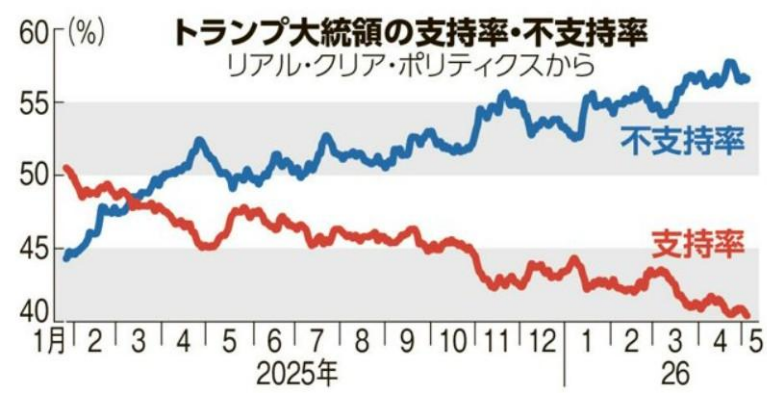
共和党が上下両院の過半数を維持し、トランプ政権が現路線を継続する、民主党が上下両院の過半数を獲得し、トランプ政権がレームダック化するシナリオもあろう。尚中間選挙は通常、政権与党が左図のように議席を減らす傾向にある。

トランプの支持率は、複数の世論調査では、おおむね30%台半ばに低下している。2025年末の時点でも、CNN 都調査会社 SSRS の調査で支持率は37%、不支持率は63%と、不支持が大きく上回る状態である。

2月末、米国がイスラエルと共にイランを先制攻撃すると、イランはホルムズ海峡を事実上閉鎖し、エネルギー危機で世界経済は混乱に陥っ

た。車社会の米国でもガソリン価格が攻撃前の1.5倍に。給油所では市民から“高すぎる、早く戦争をやめてもらわないと”との不満が上がる。対外介入の泥沼化と物価高という、歴代政権の失速を招いた組み合わせが揃いつつある。

トランプ政権は自ら招いた苦境にいる。濃厚とみられた共和党上院での多数派維持も危うくなってきた。



危機感を募らせるトランプは、政策よりも、米国市民権のない人が大量に投票しているという根拠に乏しい“不正選挙”の訴えを強め、選挙ルールを変更して

自党に有利にしようとしている。最優先するのが有権者登録の厳格化だ。

民主党支持の多い黒人やマイノリティが有権者登録が難しくなるように彼らがあまり持っていない運転免許証など身分証明の提示が求められ、また郵便や期前を禁止する法案を制定しようとしている。

民主党が中間選挙だけでなく2028年の大統領選挙に確信を持つには、ニューヨーク市長戦勝利の勢いとMAGA派の混乱だけでは材料が足りない。大統領側の政党が中間選挙で不利になるのは常で、それ自体民主党の強さの証ではない。2018年や②①22年の中間選挙では“トランプへの拒否感”や中絶権の防衛“が民主党の追い風となり想定以上に善戦した。

図表2：現在の議席と獲得議席予想



注1：上院は2026年1月29日時点、下院は2月5日時点のデータ。出所：270toWinを基にPwC作成

最近の分析では次のような指摘が増えている。

* トランプ個人への嫌悪感は強いが、経済・移民・安全保障では“共和党寄り”の有権者が多い。

- * 中間選挙は投票率が低く、“強い支持・強い反感”の人は必ず投票するが、中間層や無党派は“自分の暮らしに何をしてくれるかで”動く
- * “トランプ阻止”だけを前面に出すと、“結局、民主党は自分たちの生活をどう良くするのか”が見えにくい。

今焦点となってよく論じられているのは次の点である

- * 物価高や雇用など“家計”の具体策をどこまで示せるか
- * 中間層・地方の白人有権者をどこまで取り戻せるか
- * トランプ政権の政策と民主党の”対案“を具体的に示せるか

要するに“トランプがダメだから民主党”ではなく“自分の生活のために民主党を選ぶ理由”を中間層にどこまで提示できるかが勝敗ラインになるろう。



民主党には衆目が一致する大統領候補は見当たらない。

右からハリス前副大統領
ニューサムカルフォルニア州
知事、ブティジェッジ前運輸
長官

24年にトランプに敗れたハ
リス前副大統領は世論調査で
最有力候補に挙がるとはい

え、再選出馬に異論が多い。2番手にいるニューサムカルフォルニア州知事も勢いを欠く。

なお民主が頼るのはオバマ元大統領だ。地方戦の応援演説に引っ張りだこで、資金面も依存する。資金調達力は党内で群を抜く。民主は資金難で党再建の足かせになっている。2月末時点で1740万ドルの負債を抱え、中間選挙の候補者を売り出す党大会構想を見送った。

民主党支持者は伝統的に清新な人物を好む。カーター氏、クリントン氏、オバマ氏という歴代の大統領は元々アウトサイダーだった。20年の大統領選で上院議員や副大統領として40年超の政治歴のあるバイデン氏が候補になったの

が異例で、民主にはワシントンの政治に新風をもたらす候補を望む土壤がある。反トランプ一辺倒でなく未来のビジョンを語り、米有権者の共感を得られる候補が現れるのか。

大統領職と上下両院の多数派を共和党が握る現状の“トリプルレッド”はトランプ氏に権力が集中する“支配”的な状況を生んだ。今米国はその岩盤支持層が揺らぐ地殻変動の途上にあるのか。これはトランプが率いる共和党だけではなく民主党も同じような岐路に立っている。